

令和7年度 大学奨学生小論文課題

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会
理事長 田代 久美子

【課題図書】

書式名：『世にも美しい数学入門』
著者： 藤原 正彦、小川 洋子
出版社： 筑摩書房

大変面白い本です。楽しく読んでください。

この中の難しい定理、予想を理解しようとしてつまづく必要はありません。

例えば「フェルマー予想」とはなにかを理解しようとするのではなく、「谷山＝志村予想」との関係を理解するという姿勢で読んでください。この77頁8行目～78頁6行目までの谷山と志村のやりとりの美的感受性を味わってください。

また小川洋子の質問を味わい、藤原正彦のユーモア溢れる話も専門家ならではの面白さです。

『数学を「世にも美しい」とは思わない』というような、ひとつひとつの言葉尻をとらえての論の立て方は、貧しいことだと思います。このような宝の山を前にして、まず宝の豊穡さを味わいましょう。豊穡のなかに分け入り、いろいろな発見をしてください。

最近の傾向でしょうか、課題図書の内容にひっかけ、自分の部活の話ばかり、自分の挫折の話ばかりに終始するものが多いのですが、読むことに依る内容の感想が溢れている小論文が読みたいと思っています。

この本を契機に「天才の栄光と挫折」「博士の愛した数学」などを読みたくなれば幸いです。まさに両書とも文系理系という狭隘な分類を超越する書物です。